

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
36103	ファッションコーディネート演習 Fashion Coordination	杉浦菜穂子			1	選択	1、2前期

科目の概要

ファッションの概要をとらえ、スタイリストの仕事内容を知る。ファッションコーディネートの種類とテクニックを学び、専門的な知識・技能を修得することにより、これらを活用してコーディネート能力を養う。様々なファッションアイテムを通してバランス感覚を磨き、ファッションセンスを向上させる。なお、授業の中でミラノ、パリ、ニューヨークコレクション鑑賞により、独自の発想や表現力を高めるために感性を磨く。また、獲得した知識を活用して、課題を取り組むことで自己の潜在能力の開発に繋げ、多くの人々に波及できるスタイリング提案を目指す。これはディプロマポリシーの②③に相当する。これらを身に付けるために行う。

学修内容	到達目標
① ファッション業界におけるスタイリストについて概要を捉える。 ② アイテムの種類とコーディネート方法について、カラー、素材、かたちの面からとらえ、着装を行う。 ③ デザイナーの発表作品を通して、活躍状況の背景、コーディネートバランスを捉える。 ④ 生活シーンに合わせたファッションコーディネートの実際について学修する。	① 様々なスタイリストの役割と仕事内容を説明できる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ② ファッションアイテム種類と特徴を知り、コーディネート演習を通してバランス感覚を磨き、スタイリングを創造することができる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ③ デザイナーの作品の特徴を捉え、自身のコーディネートに活用することができる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。 ④ 様々なファッションシーンに対して、これまで獲得した知識を活用して、最適なトータルファッションスタイルを提案することができる。これはディプロマポリシーの②③に相当する。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素 **学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例**

前に踏み出す力	主体性	ファッション情報を積極的にとらえ、街中、電車の中、TVなど様々なスタイルのコーディネートを観察する。教員が提示した社会人基礎力を意識して授業に取り組む。
	働きかけ力	
	実行力	授業で学んだ内容を普段のファッションスタイルの中で活かし、実際に応用する。
考え抜く力	課題発見力	毎日のスタイリングの中で自分なりのこだわりを持ってコーディネートする。
	計画力	
	創造力	自分の好きなジャンルにこだわらず、様々な感性を表現するためのスタイリングに挑戦する。
チームで働く力	発信力	発表や課題に取り組む場合は、口頭だけでなく、相手に伝わりやすいように図、写真などを加え、工夫して発表する。
	傾聴力	課題発表会では、他者の発表をしっかりと聞き、評価できる点を見出す。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

テキスト：毎時間プリントを配布する
 参考文献：なし

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：ファッションビジネス論
 資格との関連：なし

学修上の助言	受講生とのルール
普段からファッションに関心を持ち、ファッション雑誌、インターネットなどによりファッション情報に触れるように心がけよう。また、ファッション販売の現場にも足を運び、ショーウィンドウのディスプレイやショップの商品構成を観察しよう。	演習授業であるので、欠席しないこと。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	0	①			
				②			
				③			
				④			
	平常評価	小テスト		0	①		
					②		
					③		
					④		
		レポート		30	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④		
		成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		60	①	✓	
					②	✓	
					③	✓	
					④		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓			
			②	✓			
			③	✓			
			④				
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>A：ファッションアイテムの種類と特徴を理解し、シーンに合わせてファッション性の高いトータルコーディネートが提案できる。</p> <p>S：上記に加えて、トレンドを反映した最適な提案ができる。また、積極的に課題に取り組み、多くの学生から評価の高い発表ができる。</p>	<p>B：ファッションアイテムの種類と特徴を理解し、ファッションシーンに合ったトータルコーディネートが提案できる。</p> <p>C：上記の基準に対して、課題や実習に対して、消極的な取り組みが見られる。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	ファッションの概要をとらえ、スタイリストの役割について学修する。	講義と質疑応答 PPにより解説する。	本授業についての取り組みを理解し、ファッションスタイリストの役割を説明できる。	(予習) シラバスを読み、15回の授業内容をとらえる。 (復習) 活躍するスタイリストの状況と仕事内容を調べる	90	創造力 傾聴力
2	ファッションアイテムの商品知識① クローズアイテムについて種類と形の特徴を解説する。	講義と質疑応答 PPにより説明し、視覚的に内容を捉える。 パソコンを使用し、クローズアイテムについて種類と形の特徴について調べてプリントをまとめ、提出後フィードバックする。	クローズアイテムの形と名称、アイテムの特徴を説明できる。	(予習) ワードローブの中でアイテムの種類とデザインをまとめる。 (復習) プリントを整理し、自分のワードローブを見直す。	90	主体性 傾聴力
3	ファッションアイテムの商品知識② ファッション小物アイテムについて種類と形の特徴を解説する。	講義と質疑応答 PPにより説明し、視覚的に内容を捉える。 パソコンを使用し、ファッション小物アイテムについて調べてプリントをまとめ、提出後フィードバックする。	ファッション小物アイテムの形と名称、アイテムの特徴を説明できる。	(予習) 手持ちの小物の種類とデザインをまとめる。 (復習) プリントを整理し、自分のワードローブを見直す。	90	主体性 傾聴力
4	ファッションデザイナーの作品から見る感性 シャネル、ディオール、高田賢三、ヴィヴィアンウエストウッドの作品の概要を知り、コーディネートの特徴を解説する。	講義と質疑応答 PPにより説明し、視覚的に内容を捉える。 Notebookを活用しデザイナーについて調べてまとめる。提出後フィードバックする。	デザイナーの作品の特徴を説明することができる。	(予習) 有名ファッションデザイナーのスタイルを検索する。 (復習) 興味を持ったデザイナーの今季のコレクションを鑑賞する。	90	実行力 傾聴力
5	カラーコーディネート演習① 配色カードを使用して、色彩調和理論によるコーディネートを実習する。 準備-配色カード、紙切り、のり	演習 PPにより概要説明後にカラーコーディネート方法に合わせて実習する。パソコンを使用し配色提案について調べてプリントをまとめ、提出後フィードバックする。	カラー情報について、配色テクニックとコーディネート方法の特徴を知り、プリントにまとめることができる。	(予習) カラーを中心にしたトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習) 本日学修したカラーコーディネートスタイルのカラー展開をまとめる。	90	実行力 課題発見力
6	カラーコーディネート演習② 前回学修したコーディネート例について、実際のコレクションスタイルから抽出する。	演習 PPにより概要説明後パソコンを使用しコレクション情報からコーディネートスタイルを検索する。表にまとめ、提出後フィードバックする。	カラーコーディネートスタイルを理解し、コレクション情報から検索することができる。	(予習) カラーを中心にしたトータルコーディネートを検討し、着装する。 (復習) 本日学修したカラーコーディネートスタイルのカラー展開をまとめる。	90	課題発見力 発信力
7	マテリアルコーディネート演習 素材の組み合わせによるコーディネート提案をし、PPを作成する。	演習 PPにより概要説明後に素材毎に特徴を知り、パソコンを使用して素材を活かしたコーディネートPPを作成する。プリントにまとめ、提出後フィードバックする。	演習 PPにより概要説明後に素材毎に特徴をプリントにまとめ、提出後フィードバックする。	(予習) 素材を中心にしたトータルコーディネート提案を考案する。 (復習) 本日学修したスタイルの素材の特徴をまとめる。	90	実行力 課題発見力
8	ファッションイメージコーディネート演習 8つのイメージ特性をとらえ、イメージに合ったスタイルを学修する。	演習 PPにより概要説明後、パソコンを使用しファッションイメージに合ったスタイル収集する。PP、プリントをまとめ、提出後フィードバックする。	ファッションイメージの分類を理解し、それぞれのイメージに合ったスタイルを提案できる。	(予習) 自分の好きなイメージに合ったスタイルを着装する。 (復習) イメージとスタイルの特徴をまとめる。	90	実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	ファッションアクセサリコーディネート演習 アクセサリの種類を知り、アイテムに合わせたコーディネートを実習する。	演習 パソコンを使用してファッションに合わせたアクセサリコーディネートPPを作成する。PP、プリントをまとめ、提出後、フィードバックする。	アクセサリの種類を知り、スタイルに合わせた活用方法を提案できる。	(予習) 本日のスタイルに合ったアクセサリをコーディネートする。 (復習) 手持ちのアクセサリとスタイル検討する。	90	創造力 発信力
10	アイテムのコーディネート 様々なアイテムのコーディネートについて、スタイリングの基本を実習する。	演習 PPにて内容を解説後、パソコンを使用してアイテム別コーディネートのPPを作成、プリントにまとめる。	ファッションアイテムの基本的なバランスのとり方について把握できる。	(予習) 本日のスタイルのテーマ、こだわりを考えプリントにまとめる。 (復習) ワードローブの中から新しいコーディネートを検討し、画像保存する。	90	課題発見力 創造力
11	和服のコーディネート演習 和服の種類と小物の名称を学修する。 浴衣の着装方法を理解する。	演習 PPにて内容を解説後和服のたたみ方や取り扱いについて実習する。浴衣の着装方法を講義、実演する。	和服の構造を知り、小物を含めた名称を説明することができる。 浴衣の着装方法を説明することができる。	(予習) 浴衣の着装動画をclassroomより視聴し、概要をとらえる。 (復習) 浴衣のたたみ方をまとめ、手持ちの浴衣を再度たたむ。	90	課題発見力 傾聴力
12	ファッションスタイルの提案演習① 最終課題「トラベルコーディネート提案」をテーマにしたコーディネートの提案を行う。 TPOに合わせて、計画を立案し、情報を収集する。	演習 課題説明後、テーマに沿ってコーディネート計画を立て、パソコンを使用して情報を収集する。	テーマを設定し、情報を収集することができる。	(予習) トレンドファッションをインターネット上で調べる。 (復習) テーマに合わせたスタイルを収集する。	90	主体性 実行力 傾聴力
13	ファッションスタイルの提案演習② 最終課題「トラベルコーディネート提案」をテーマにしたコーディネートの提案を行う。 TPOに合わせて、計画を立案し、パソコンを使用し情報を収集する。	演習 課題説明後、コーディネート提案内容をパソコンを使用しPPにまとめる。	テーマを設定した内容をPPでまとめることができる。	(予習) 提案内容について、PPの構想を考え、試用する画像を集める。 (復習) PPの発表用原稿をまとめる。	90	主体性 課題発見力 創造力
14	ファッションスタイルの提案発表① 制作したコーディネート提案を発表する。また、他の発表の評価を行い、学生相互に学び合う。	演習、プレゼンテーション パソコンを使用して制作したファッションスタイル提案を発表し、評価する。まとめのプリントは点検後、フィードバックする。	自分の課題を発表し、他の発表を評価することができる。	(予習) 発表のための原稿を読み練習する。 (復習) 発表内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	実行力 創造力 発信力 規律性
15	ファッションスタイルの提案発表② 制作したコーディネート提案をクラスルームにて発表する。また、他の発表の評価を行い、学生相互に学び合う。	プレゼンテーション 制作したファッションスタイル提案をクラスルームにて発表し、評価する。クラスルームに提出したまとめのプリントは点検後、フィードバックする。	自分の課題コーディネート提案PPをクラスルームに提出し、他の発表を評価することができる。	(予習) 発表のための課題コーディネート提案PPをクラスルームに提出する。 (復習) 他者の発表内容を振り返り、プリントにまとめる。	90	実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力